

いわき農林ニュース

(ふくしま食と農の絆づくり運動ニュース)



発行 平成22年5月19日



「サンシャイントマト出荷協議会」総会を開催

4月13日(火)、JAいわき市本店において、「平成21年度サンシャイントマト出荷協議会」総会が開催されました。

総会では、平成21年度の実績について説明が行われ、出荷量は前年度と比べ、117%、



(サンシャイントマト生産施設(あかい菜園))

金額は、105%と増加したものの、単価では、90%にとどまったことが報告されました。

この原因は、昨年9～12月の単価安が続いた影響によるものと推測されます。

しかし今年度は、全国的な低温・日照不足による品薄から、価格が上昇し高値で推移しています。



(色づくサンシャイントマト)

「サンシャイントマト」の出荷量は、今後も安定的に推移することが見込まれるため、トマト生産期間(平成21年9月～22年8月)における実績は、平成21年度に比較して増加するものと予想されます。

また、平成22年度事業計画では、新たな取り組みとして協議会全体でJGAPの導入方針が決定されました。GAPとは、農業生産現場で行う、プロセスチェック方式によるリスク管理のひとつで、安全・安心な農産物生産が求められるなか注目される管理手法です。そのなかでも、JGAPは、国際基準と同等と認められるもので、記載項目数なども多く難易度が高い取り組みですが、いわき農林事務所では計画の達成に向けて支援を行っていくこととしています。



「いわき菜の花フェスティバル2010」が開催されました。

4月17日(土)、平下高久公民館で「いわき菜の花フェスティバル2010」が開催されました。

当日は、浜通り地方でもみぞれ混じりの雪が見られるなど大荒れの天候のため、菜の花畑での会場イベントを



(菜の花プロジェクトの畑)

断念し、公民館に移動しての開催となりました。

公民館では、いわき明星大学、NPO法人いわき菜の花プロジェクト、磐城農業高等学校、いわき市、JAいわき市、県等の関係機関・団体関係者が一堂に会して各ブースを設置しました。

会場内は、関係機関が一体で取組んでいる「いわき菜の花プロジェクト」のパネル、菜の花トライク(バイオディーゼル(※)三輪バイク)が展示されるとともに、菜種しぼり、菜の花しおりづくり体験などのほか、菜の花コロッケ、豚汁の販売や地元産イチゴの直売も行われました。



(「菜の花プロジェクト」展示状況)

今回のフェスティバルは、あいにくの天候でしたが、地域レベルでの循環型社会形成と農用地活用を同時に実現可能とする取り組みについて普及・啓発が図られました。

※バイオディーゼルとは、主に植物油から作られた燃料で、ディーゼルエンジンを有する車両、船舶、農耕機具、発電機に使用します。(石油燃料(化石燃料)の代替となり環境への負荷が小さいとされる。)



「いわき稲 WCS 生産組合」 設立総会を開催

4月19日（月）、県いわき合同庁舎において「いわき稲 WCS（※）生産組合」設立総会を開催しました。

設立総会では、出席した6名の構成員から、組合長として三和町の藁谷茂平氏が選出されました。

いわき地方では、これまで稲 WCS の生産拡大を推進してきたところですが、専用の機械が無いので、畜産農家を中心とする小規模な取り組みの現状でした。

今年度からは、水田活用自給力向上事業が開始され、新

規需要米の稲 WCS の生産に対して大規模稲作農家からも取り組み希望があるものの、今まで栽培や収穫の経験

や専用機械も無く不安な状況でした。このため、取り組み希望者を募り、栽培等の学習や共同での機械リースに取り組むための組合を設立しました。

本年度の事業計画では、WCS 専用収穫機レンタル事業の導入を中心として、生産体制（移植・直播、収穫時期、品種）の調整を行い、平坦部の夏井、下小川地域の収穫後、中山間部の下永井地区で収穫する体系を計画することにより、本年度作付け実施面積は、4.3ha となりました。

いわき地域における稲 WCS の生産体制が整ったことにより、平成22年度全体としての作付け面積は、これまでの2ha から約20ha へと大幅な生産が可能となりました。

いわき農林事務所では、稲 WCS の生産を通じて、いわき地域における水田の有効活用と良質自給飼料の生産を一層拡大するため、支援を行っていくこととしています。

※WCSとは、（ホールクロップサイレージ（Whole Crop Silage）発酵粗飼料の略で、植物の子実が完熟する前に子実と茎葉を同時に収穫し、それを丸めてラッピングしたものを、発酵（サイレージ化）させた家畜用の粗飼料のことをいいます。



（ホールクロップ収穫機）



「いわき地方山火事防止連絡協議会」を開催

4月21日（水）、県いわき合同庁舎において関係機関が出席し、「いわき地方山火事防止連絡協議会」を開催しました。

毎年春先は、空気が乾燥しているほか、山菜採りなどで山に入る機会が多くなり、山火事が多発しています。山火事の発生原因の多くは、野焼きやタバコの投げ捨てなど、人々の不注意による

ものとなっています。

会議では、平成22年度の山火事防止運動の実施計画等について検討を行った

後、市内スーパーの店頭で、市民の皆様にはチラシや携帯灰皿等を配布しながら山火事防止についての理解・協力を求めました。

さらに、いわき農林事務所では、4月13～30日の期間中、山火事防止について車両巡回による広報活動を行うとともに、「山火事用心」の立て看板を設置しました。

今年の山火事防止の全国統一標語は「消さないで 小さな命の帰る場所」です。

今後も関係機関が一体となって山火事防止に努めてまいりますので、皆様も山に入る際は火の取扱に十分注意し、山火事の発生防止についてご協力をお願いいたします。



（スーパーでのチラシ配布）



（山火事防止の立て看板）



「田んぼの学校」開校式を開催

4月26日（月）、いわき市立夏井小学校と

連携した「田んぼの学校」開校式を開催しました。

開講式では、田んぼの学校の校長先生を始めとした地元協力農家やPTAの方々などからなる「田んぼの学校応援団」と



(種まきの様子)

主役となる5年生児童ら23名が顔合わせを行い、一年間を通しての活動内容を確認して、田んぼの学校がスタートしました。

開校式後最初の作業として水稻の種まきを行いました。児童らは、地元農家の方の指導を受け、たくさんの米が収穫できるよう期待を込めながら一生懸命に種をまきました。

種まきを終えると、児童らは、地元農家の方の育苗ハウスを見学し、自分たちがまいた種が今後どのように管理され、生長していくのかを学ぶとともに、興味深く説明を聞いていました。

その後児童らは、学習田に裸足で入り、肥料まきを行いました。

初めは、肥料特有のにおいに抵抗があった様子でしたが、しばらくすると慣れたようで、楽しみながら手際よく、100kgの肥料をあっという間にまき終わってしまいました。



(肥料まきの様子)

今回の作業では、まだ物足りないといった表情でしたが、児童らは意欲や興味を持って取り組んでおり、次回の「田んぼの学校」活動が待ち遠しいといった様子でした。



「農林水産業施策推進のための意見交換会」を開催

4月28日(水)、県いわき合同庁舎におい

て、「農林水産業施策推進のための意見交換会」を開催しました。

この意見交換会は、平成22～26年度の5年間を計画期間とする、福島県農林水産業振興計画「いきいき ふくしま 農林水産業振興プラン」について関係機関、農林水産業者等への理解醸成を図るとともに、



(宍戸農林水産部次長あいさつ)

本年度から開始された、「戸別所得補償モデル対策」について農業者の積極的な加入の促進を図ること及び生産現場における問題点や課題等について意見交換を行うことを目的に開催しました。

宍戸農林水産部次長のあいさつに続き、第1部として、「いきいき ふくしま 農林水産業振興プラン」の概要及びいわき地方の振興方向について説明を行いました。意見交換会では、具体的な事業の活用策などについて質疑が行われ、関係者の積極的な取り組み姿勢が感じられました。

また、第2部では、戸別所得補償モデル対策の概要などについて、福島農政事務所及び県から説明を行い、引き続き行われた意見交換会では、



(意見交換状況)

作付け計画や申請に当たっての留意事項など、具体的な手続きなどの質疑が行われ、制度の内容について関係者への理解及び周知が図られました。



「緑の募金」街頭募金活動を実施

4月29日(木)、いわき・ら・らミュウ及びアクアマリンパークの周辺において、いわき市緑化推進委員会の主催による、「緑の募金」

街頭募金活動が実施されました。

この街頭募金活動は、毎年4月1日～5月31日の「緑の募金」運動推進期間に実施されているもの

で、今年は「小さな芽届け未来へ緑の力」をテーマに、「いわき市立泉小学校緑の少年団」24名と「サンシャインガイドいわき」2名のほか、警



(いわき市立泉小学校「緑の少年団」による募金活動)

城森林管理署、いわき市森林組合、県造園建設業協会、いわき農林事務所の協力のもと実施されました。当日は、前日の雨も上がり、会場に

は、緑の少年団の募金を呼びかける元気な声が響き、訪れた方々のほか、地元商店街の方々からも多くの募金が寄せられました。

募金をしていただいた皆さんには、緑の羽根のほか、ベゴニア、マリーゴールド、サル



(募金の状況)

ビアなど、花の苗やレンギョウの苗木が配られ、あちらこちらで色鮮やかな花木の苗を手にした親子連れなどが笑顔を浮かべる光景が見られました。

引き続き、地域緑化推進のため、「緑の募金」の呼びかけを行ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ **いわき地方農業土木促進協議会総会**
期日：5月27日(木) 15:00～ 会場：いわきワシントンホテル椿山荘
- ◎ **食品表示ウォッチャー委嘱状交付式、研修会**
期日：5月28日(金) 13:30～ 会場：県いわき合同庁舎
- ◎ **いわきの森に親しむ会総会**
期日：5月29日(土) 時間未定 会場：湯ノ岳山荘
- ◎ **田人の山・光あふれる森づくり事業「植林体験」**
期日：6月6日(日) 8:30～ 会場：田人町(県いわき合同庁舎集合)
- ◎ **田んぼの学校(①かかしづくり、②草取り)**
①期日：6月9日(水)、②期日：6月16日(水)
時間未定 会場：いわき市立夏井小学校
- ◎ **第2回農業ふれあい講座(栽培指導)**
期日：6月19日(土) 10:00～ 会場：夏井現地ほ場

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp